

# 「第4回 昭和ケア会議」

(昭和未来会議アクションプロジェクト)

平成 29 年 10 月 30 日 13 時 30 分～15 時 30 分  
在宅介護支援センターほほえみの里「プラザ昭和」

## ☆本日の「昭和ケア会議」は…

本日の『第4回 昭和ケア会議』の予定です。

※初参加の方がいた場合、簡単に『昭和未来会議』と『昭和ケア会議』の説明を行います

1. 昭和の旬の情報共有【10分程度】

2. 「一人一言トーク」【5分程度】

(最近嬉しかったこと、良かったこと等、皆さんが聞いて嬉しい内容を『一言』ずつ)

※参加者の皆さんのアイスブレイクとして実施

3. **本日の昭和ケア会議**【終了10分前まで時間の限りお話ししましょう！】

「第3回 昭和ケア会議」のおさらい(5分程度)

### 今回のテーマは…「昭和の防災について」

地域で頑張る皆さん、専門職のみなさん、行政それぞれの経験や知見を持ち寄り、学びや気付きを得る場とします。具体的なアクションにつながる場合があれば、実行メンバーを、皆で支援します。(例「認知笑劇団」)

4. おさらい、次回テーマ決定【10分】

## ※、『昭和未来会議』と『昭和ケア会議』について

繰り返しになりますが、最初に「昭和ケア会議」の位置づけをおさらいします

「昭和ケア会議」は「昭和未来会議」のアクションプロジェクトの一つとして始動しました。

- ▶平成 28 年 6 月「昭和未来会議」スタート（毎月 1 回開催）。多様な考え方や意見があげられたが、その中から「みんなの理想の未来」が 2 つにまとめられた。

### < 2 つの「みんなの理想の未来」 >

- ▶①「みんなが安心して暮らせる昭和に」
- ▶②「若者が活躍できる魅力的な昭和に」

- ▶この、みんなの理想の未来に向けて「やってみたいこと」のアイデア出しを実施。様々なアイデアが上がり、意見が多かった 3 つの項目を中心にグループが分けられた。

### < 3 つの「昭和未来会議アクションプロジェクト」 >

- ▶①「イベントグループ」
- ▶②「日常の交流の場グループ」
- ▶③「支援が必要な人のためにできることグループ」

- ▶アイデアの実現に向けた話し合いを続ける中で、課題が見えてきた。

- ▶①「毎回のメンバーが固定されず、月一回の開催なのでなかなか話が進まない」
- ▶②「関わる人々がワクワクしないと続かない」
- ▶③「新しい取組だけではなく、既存の活動の充実も大切」  
⇒①②に対応して、「3つの個別アクションプロジェクト※」始動  
⇒③に対応して「地域資源リスト」を作成、関係者で磨き上げ、幅広く共有

※アクションプロジェクトの内容

- ①イベントグループ ⇒ 「昭和つながりリングプロジェクト」と命名し、ミーティングを定期開催。「昭和☆まもりんピック (10/7.8)」の開催決定！協力者募集中！
- ②日常の交流の場グループ ⇒ 多文化交流「畑」の検討、視察や試食等を開始！
- ③支援が必要な方に対してできることグループ ⇒ 「昭和ケア会議」スタート！

- ▶母体となる「昭和未来会議」のこれから

- ▶ 3 つのアクションプロジェクトのスタートを機に、毎月ではなく開催間隔を広げて実施することに。
- ▶ 昭和の未来を共有する情報交換の場（3 つのアクショングループの活動状況の報告・協力依頼をはじめ、昭和の未来に向けた様々な情報、方向性の共有を行う）
- ▶ 未来に向けたテーマトークの時間を設け、新しい仲間を増やす。

## 「第3回 昭和ケア会議」のおさらい

### 「第3回 昭和ケア会議」

平成 29 年 9 月 25 日 13 時 30 分～15 時 30 分

在宅介護支援センターほほえみの里「プラザ昭和」にて開催

(内容)

1. 「昭和未来会議」と「昭和ケア会議」についてのおさらいを行いました
2. 「昭和の情報共有」(『認知笑劇団』『昭和☆まもリンピック』『地域資源』等)を行いました
3. 「昭和地区のガイドブック・地域資源情報検討」
4. 「これからの『昭和ケア会議』について」

これからの昭和ケア会議の進め方の検討を行いました。

「支援の必要な方に対してできること」について、皆さんの関心の高いテーマについて意見を出し合い、共有しました。※別紙「意見のまとめ」参照

次回以降の昭和ケア会議では、毎回皆さんの関心の高い項目を中心にテーマを1つ定めて、より充実した意見交換や情報共有を行っていきます。

次回開催は、10月30日(月)13:30～ テーマは「昭和の防災について」

その他：10/10 認知笑劇団、11/4,5 団地の文化祭、11/12 防災訓練(予備26日)

これからの「昭和ケア会議」の進め方(イメージ)

1. 昭和の旬の情報共有(認知笑劇団、昭和☆まもリンピック等の多分野の報告)【10分程度】
2. 「一人一言トーク」(最近嬉しかったこと、良かったこと等、皆さんが聞いて嬉しい内容を『一言ずつ』)【10分程度】※参加者の皆さんのアイスブレイクとして実施
3. **本日の昭和ケア会議**(事前にテーマを決めて開催、時には関連するゲストも登場)【50分】

⇒この会議のメインです！

話合いを濃密なものにするため、毎回テーマを決めて開催します

地域で頑張る皆さん、専門職のみなさん、行政それぞれの経験や知見を持ち寄り、学びや気付きを得る場とします。具体的なアクションにつながる場合があれば、実行メンバーを、皆で支援します。(例「認知笑劇団」)

4. おさらい、次回テーマ決定【10分】

⇒結果は昭和未来会議やHPでも毎回報告し、地域の皆さんに広げていきます！

※別紙「第3回昭和ケア会議意見のまとめ」

内容：「支援の必要な方に対してできること」について皆さんの関心が高いテーマ

グループ①の意見	
災害	外国人も高齢化。地震がとても怖い、車で移動してしまう
	防災訓練。人の集まりが悪い。キャリダンを買った（車椅子のようなもので、階段を降りられて、女性でも押せる）ので、他のところでも役に立っていないか。
	「市の一人暮らしリスト」は3人くらい連絡先が書いてあるが、連絡がつかなかったり、動けないことも。行政でやってほしい。「要援護者リスト」は、認知症・高齢者夫婦・一人暮らし高齢者・知的精神障害者・その他助けが必要な人で、民生委員／区長が秋に訪問。
	昭和は今まで大きな被害はない
	水や食料の準備が大切
	一旦おさまったら避難すべきかは災害にもよる。逆に移動すると危ないことも。
	昔と違い急な風雨や竜巻がある。これまでの防災訓練じゃだめかも。家にいた方がいいのか。
見守り	でも不安！だれかと安心したい。
	特に一人暮らし、高齢者の2人暮らしは団地に多く、肉親も遠い人が多い
	認知症の方は知っていれば声をかけられるが、知らないと…
	家賃の引き落とし、テレビや電気もついているので、亡くなっても気づけない
	福祉の手・情報を共有する場が大切
	家族がいても忙しいと、となり近所の関心が必要
	名簿の人（要援護者等の）に限らず、普段からの声かけ
	イベントやものにつながるきっかけになる
	声かけをしたり、気にかけてくれる人がたくさんいれば…
	お年寄りや地域に出てこない人をどう出てきてもらうか、どう把握するか
情報	回覧板が回らない。全戸配布が外国人のところだととまってしまう（外国語は20カ国以上）
	外国の文化理解（宗教も含め）外国人の困りごと
グループ②の意見	
要支援者名簿活用	
ハダテ先生、幼児向け絵本読み聞かせの水野さん→資源	毎週月みらいJ r
通訳できる人→資源	
防災訓練→外国人の若い方が力になるはず→資源	
力仕事お助け隊	
児童センター祭り、外国人親子	
UR見守りサービス（有料）	
新聞見守り	
魚初見守り	
ヘアークット	
移動手段・支援	
黄色いハンカチ（見守り）←水道メーターランプ代わり	
災害ボランティア参加	

以上です